



第2次あま市総合計画策定
市民会議

《提言書》

令和3年1月

令和3年1月8日

あま市総合計画審議会
会長 鶴田 佳子 様

第2次あま市総合計画策定市民会議
会長 小林 優太

提言書

あま市が、安全・安心で暮らしやすく、世代間の交流も盛んな、市外からの移住定住も促進できる、魅力あるまちであることを望みます。

市民会議での意見交換を踏まえ、「市の既存の魅力及び財産のさらなる活用」と「生活、労働及び観光など多方面に資する魅力向上のための施策」を企図し、実行していく必要があると考えますので、下記のとおり市民会議において提案された主だったアイデアや意見を列挙し、総合計画審議会へ提言させていただきます。総合計画への反映のご検討のほどお願いいたします。

1 市の既存の魅力、財産のさらなる活用

(1) 七宝焼を生かした魅力の向上

七宝焼の未来を考える、多くの市民を巻き込んだ機会の創出

(現状への認知の拡大、PRの方向性の模索、七宝焼職人の方達との交流、など)

例) 七宝焼をテーマに高校の総合学習などと連携

商品開発、マーケティングなどを実践し、経済についても学習

(七宝焼モチーフのスイーツ開発など)

若い世代が七宝焼へ理解を深めることで、将来の方向性を模索

(2) 特産品、歴史・文化遺産の活用

暮らしやすさ、各種観光資源を多様な方法でPRする

例) 市内の名所を巡るスタンプラリーなど、新たな観光施策

ランニング、ウォーキング用の独自のアプリ開発

イルミネーションイベントの拡大(木田駅から文化会館まで広げる)

特産品を利用した料理教室の開催

祭りの文化などを楽しめる場を広げる

2 生活、労働、観光など多方面に資する魅力向上のための施策

(1) 公共施設の整備

例) 大人も子供も遊べる、ボールが使える公園の整備

まちの防災、防犯、交通安全などの機能向上

(2) 働きやすさと暮らしやすさの向上

例) 育児と仕事が両立できるまちとなるための就労、子育ての支援

(3) まちに暮らす人、関わる人たちのつながりを増やす

例) 災害時などでも助け合えるつながりづくり

(4) 民間企業との連携による暮らしやすさの増進

例) 七宝焼アートヴィレッジにスターバックスコーヒーを誘致

目次

1. 市民会議の目的.....	1
2. 市民会議の役割.....	2
3. 会議の実施方法.....	3
4. 市民会議設置要綱.....	4
5. 市民会議委員名簿.....	5
6. 市民会議開催状況.....	6
7. 市民会議の提案内容.....	7

1. 市民会議の目的

市民会議は、

あま市の「総合計画」へ市民の意見を反映するための会議である。



あま市では、これからのまちづくりは、市民と共に築きあげる「パートナーシップのまちづくり」が重要と考えている。



したがって、「市民会議」では、

- ❶ あま市に在住・在勤・在学される皆さんが、自らあま市のまちづくりについて考える
- ❷ 会議を通じて、あま市全体の理解を深める
- ❸ あま市の特徴を活かした、様々なまちづくりのアイデアについて意見交換する

これらのことにより、市民の声をいかした総合計画を策定するために、市民の意見や考えを提案することを目的とする。

「第2次あま市総合計画」とは

- 現在、あま市では新しい市政を運営していく上で、市の基本的な方針となる「第2次あま市総合計画」の策定を進めている。
- 第2次あま市総合計画とは、令和4年度からを計画期間とする市町村の将来めざす姿や目標、その実現のための基本方針や、実施すべき施策や事業の方向性を定めるものである。
- また、これからのあま市のあらゆるまちづくり（福祉、産業、教育、環境、都市整備、歴史文化、保健医療、防災、行財政運営など）の根本的な指針となるものであり、市民の暮らしと大きく関わってくる計画である。

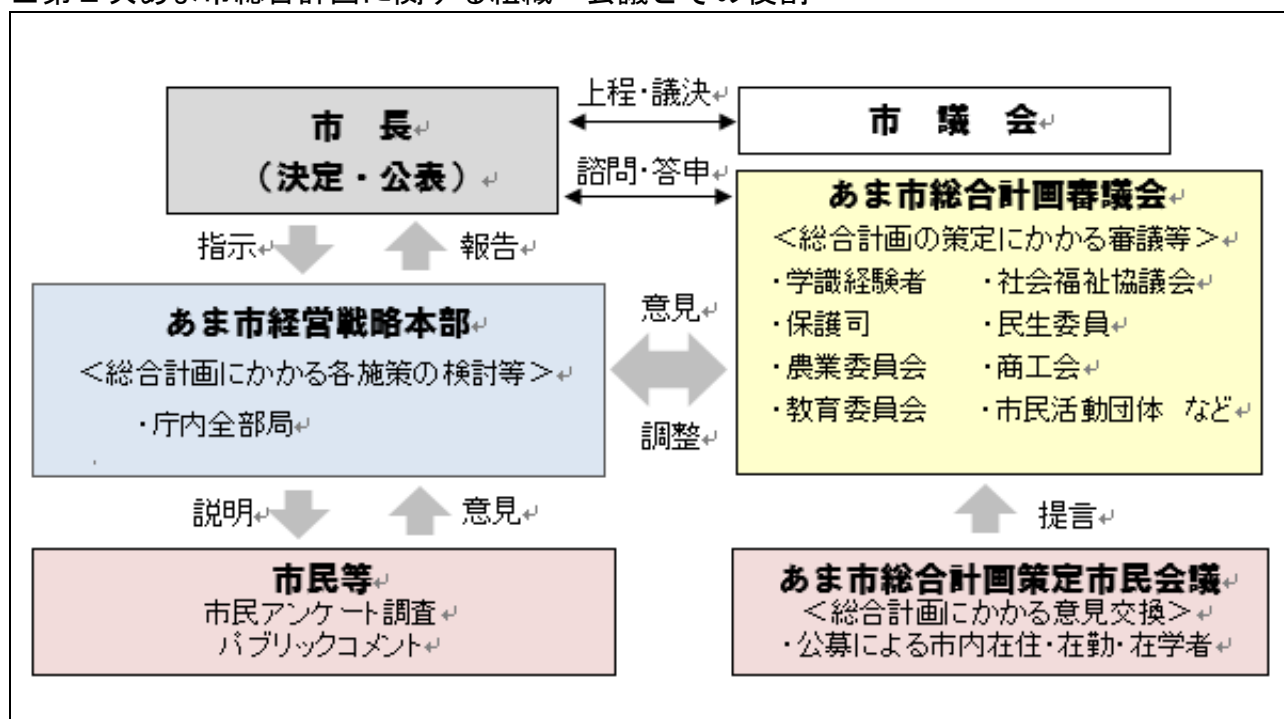
2. 市民会議の役割

市民会議は、

総合計画審議会へ、アイデアを提案する役割を担う。

「第2次あま市総合計画」の策定にあたっては、様々な主体による会議を通じて策定を進めている。

■第2次あま市総合計画に関する組織・会議とその役割



この中で、市民会議は、地域のことを一番知っている市民の方から、地域及びあま市全体が活性化し、住みやすい魅力的な都市となるための、様々なまちづくりのアイデアを検討するものであり、市全体に関することや地域に関することなど、検討を進めるためのものである。

3. 会議の実施方法

市民会議は、ワークショップ手法で会議を進めた。

＜ワークショップ手法＞

進行役の誘導のもと、個人やグループ単位で意見を出し合いながら一つの成果を作っていく方法です。まちづくりの構想や計画づくりなどを住民参加で行う場合に多く用いられる方法です。

ワークショップ形式の良い点としては、教室形式の会議と違って、小人数での討議となるため、比較的、発言しやすい環境を提供できる事、参加者の意見・要望をもとにして、班としての考え方が整理できることです。会議の活性化、参加者が積極的に発言できる方法として有効です。



①みなさんの意見を付箋紙に記入、貼付していく

- ・付箋紙の活用
- ・付箋紙には一枚につき一つの事項を記入
- ・共通の意見をグルーピングする
- ・グループ毎にタイトルをつける
- ・ボードに直接描きこむ



②グループの代表者の方が発表する

- ・グループの代表者による発表
- ・成果を集めて掲示する



4. 市民会議設置要綱

あま市総合計画策定市民会議設置要綱

(設置)

第1条 あま市総合計画の策定にあたり、あま市総合計画策定市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(任務)

第2条 市民会議は、総合計画の基本構想に関すること、基本計画に関することやその他総合計画の策定に関し必要な事項について意見交換をするものとする。

(組織)

第3条 市民会議の委員は、25名以内で組織する。

2 委員は、市民会議委員として適格であると認められる者のうちから、市長が委嘱する。

(会長及び副会長)

第4条 市民会議に会長及び副会長を置く。

2 会長は、委員の互選により選出し、副会長は会長の指名により決定するものとする。

3 会長は、会務を総理し、市民会議を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(任期)

第5条 委員の任期は、委嘱の日からあま市総合計画策定が策定される日までの間とする。

(会議)

第6条 市民会議は、会長が招集し、その議長となる。ただし、初回の会議については、市長が招集する。

2 市民会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

(庶務)

第7条 市民会議の庶務は、企画財政部企画政策課において処理する。

(雑則)

第8条 委員への報酬、旅費等の支給は行わない。

2 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

5. 市民会議委員名簿

(五十音順)

No.	委員氏名		備 考
1	蝦名 快音	えびな かいと	
2	小玉 俊仁	こだま としひと	
3	小林 優太	こばやし ゆうた	会長
4	小間 愛佳	こま まなか	
5	近藤 さくら	こんどう さくら	
6	近藤 颯太	こんどう そうた	
7	佐藤 英美	さとう えみ	
8	嶋 智美	しま ともみ	
9	鈴木 あゆみ	すずき あゆみ	
10	副島 美貴	そえじま みき	
11	恒川 侑万	つねかわ ゆま	
12	成田 由美子	なりた ゆみこ	副会長
13	林 芹渚	はやし せりな	
14	林 初音	はやし はつね	
15	原 一晃	はら かずあき	
16	星野 創己	ほしの そうき	
17	宮地 浩司	みやち こうじ	
18	八神 功征	やがみ こうせい	
19	山内 厚睦	やまうち あつむ	
20	山下 さくら	やました さくら	
21	山田 慎也	やまだ しんや	
22	山田 優羽	やまだ ゆう	
23	吉田 かのん	よしだ かのん	

6. 市民会議開催状況

第1回 あま市が将来どうありたいかを“言語化”しよう！

日 時：10月18日（日）9：30～11：30
場 所：市役所本庁舎2階 大ホール
参加者数：22名
内 容：あま市が将来どのようなになっていることを望むのかについて話し合い、まとめる。

第2回 あま市の魅力をみつけよう！

日 時：11月15日（日）9：30～11：30
場 所：市役所本庁舎2階 大ホール西
参加者数：20名
内 容：市外の人に紹介したいあま市の魅力について話し合い、まとめる。
あま市の魅力的な資源をどう活かせるかについて話し合い、まとめる。

第3回 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！

日 時：12月13日（日）9：30～11：30
場 所：市役所本庁舎2階 大ホール西
参加者数：23名
内 容：第2回でまとめた、あま市の魅力的をもとに、誰がどのようなことを実施することで、どのような街になるかについて、話し合いまとめる。

7. 市民会議の提案内容

(1) 第1回市民会議まとめ

テーマ：あま市が将来どうありたいかを“言語化”しよう！

A グループ／タイトル：The HOPE of AMA city

- ・大人も子供も遊べる、ボールが使える、みんなが集まる公園があると良い。
- ・緑が多いと良い。
- ・休日は、あま市で買い物できるように、市外の人にも来てもらえるようになって欲しい。
- ・勉強ができる場所、あま市で学べるように、トヨタの次はアマということで、グローバルな人材を育成できる環境があると良い。
- ・歩道などのインフラ整備によって、危険がなく移動のしやすい街にしたい。

B グループ／タイトル：あまこ物語

- ・住みやすい地域であって欲しい。
- ・子育てがしやすいように支援が充実して欲しい。
- ・大きな公園で、スポーツができて、多くの人と交流ができるようになって欲しい。
- ・ショッピングや祭りで楽しめるように、あま市の文化を感じることができ、楽しくあま市で生活できるようになって欲しい。
- ・伝統・異文化に触れる機会が増えて欲しい。

C グループ／タイトル：みんなで一緒にあま市をエンジョイ!!

- ・災害時などでも助け合えるように、顔の見えるつながりができると良い。
- ・世代を超えた交流ができるようにしたい。
- ・参加型イベントの開催によって、地域の人と一緒に交流できると良い。
- ・あま市の魅力を発信できるように、公園や図書館などが充実して欲しい。
- ・住んでいる人が魅力を認識できるように、みんなが好きなあま市になって欲しい。

D グループ／タイトル：あまプライド

- ・市民の人があま市に誇りを持てるようにしたい。
- ・あま市の魅力を市外の人に知って頂く。七宝焼などの資源の魅力を発信できるように。
- ・移動しやすい暮らしやすいインフラ整備をして欲しい。
- ・若者が集まり、育児と仕事の両立ができるような、働きやすい環境づくりや育児支援が充実して欲しい。
- ・子どもから高齢者までが集まれる幅広い交流ができる環境になって欲しい。

（２）第２回及び第３回市民会議まとめ

テーマ：第２回 あま市の魅力をみつけよう！

テーマ：第３回 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！



会議の風景

A グループ／タイトル：あま魂

第2回 あま市の魅力をみつけよう！

魅力	魅力(資源)の内容	活用方法
1 甚目寺観音	・甚目寺観音での祭りがある。 ・尾張四観音の甚目寺観音 ・パワースポット ・1日、12日のマルシェ ・甚目寺のアジサイ ・甚目寺の朝市(子どもも大好き)	・ポスター等を駅に貼りだしてPRする。 ・観光&食のルートマップを作る。 ・節分の歴史や新たなイベントのPR ・朝市のお客さんに甚目寺観音に興味を持ってもらうガイド ・市内の銘店市の開催
2 たくさんの公園	・「思いっきり走りまわれる」アートヴィレッジの広場 ・公園の数が多。 ・景色がきれいなアートヴィレッジ	・年齢別使用公園にする。 ・ボールで遊べるようにしたり、フェンスを高くしたり、増やしたりして、遊びの幅を増やす！ ・企業とコラボしてキャンプ場、釣り ・町の駅に提供
3 七宝焼	・エルメスもツタンカーメンの青い所も七宝焼 ・七宝焼の窯元が何軒か ・天皇陛下もご訪問されたアートヴィレッジ	・七宝駅からアートヴィレッジまで来やすくなる交通や木田駅南東エリアの交通 ・周辺の店舗を増やす。 ・春と秋の文化祭はここで(出店は地元の銘店限り) ・企業に売り込む(ヴィトン、トヨタ、ボルシェのエンブレム) ・世界へ向けてアクセサリなど新しい形 ・身近になれば(普段使い) ・市草、校章の作成
4 歴史・文化	・戦国武将 ・文化の杜	・全国、世界にPRできるようなイベントをする。
5 田舎でも便利	・高速道路、名鉄電車などアクセスがいい。 ・名古屋から近い。 ・電車が10～15分に1本はあり便利 ・東西南北が分かりやすい。 ・都市や自然(山、海)が近い。	・市街化調整区域の見直し。 ・ライフスタイルの提供
6 自然が多い	・都会に近い田舎 ・田園風景	・川を浄化しホテルを呼ぶ。 ・田んぼで遊べるイベント
7 伝統・食材	・七宝みそ ・伝統野菜の方領大根	・食育として農業体験(育てる～食べるまで) ・付加価値のついた野菜づくり ・野菜ソムリエ監修など付加価値 ・食べる機会(給食、スーパー) ・伝統野菜や食材を利用したみそ汁やみそ鍋作り
8 素朴	・人が素朴	—
9 渋い	・甚目寺、カフェ、みそ、革など	・渋さを発信

第3回 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！

アイデア	どのような魅力を活かすか	誰が	どのようなことを実施するか	どのような街になるか
七宝焼に関する課題の究明	・伝統、七宝焼を活かす。	・行政(学校) ・学生(高校生、大学生) ・市民 ・七宝焼職人	・部活、授業を通じて経済の勉強をしながら、七宝焼を発信する。 ・商品開発部、マーケティング部を立ち上げ、研究等を実践的に行う。	・七宝焼の存在が若い人も自分ごとになる。 ・担い手としての興味につながる。
■アイデアのねらい 七宝焼を題材とし、学校の部活や授業を通じて経済の勉強を行い、七宝焼の魅力を発信するとともに、商品開発部やマーケティング部を立ち上げ、研究等を実践的に行うことにより、なぜ七宝焼は浸透していないかを明確にする。あわせて、学生などの若い人が授業を通じて七宝焼にふれることにより、七宝焼を自分ごととして認識し、担い手としての興味につながることをねらいとする。				

B グループ／タイトル：特産品で心を1つに!!

第2回 あま市の魅力をみつけよう！

魅力		魅力(資源)の内容	活用方法
1	名古屋に近い	・名古屋駅から15分と近く、自然が多い。※近郊田園都市実現 ・名古屋に電車1本で行けること。 ・名二環、東名阪、新幹線(将来リニア)など交通アクセスがよい。	・ベットタウンとして発展していく? ・駅までの巡回バス ・七宝駅をあま市中心のあま市駅にする。 ・休日に名古屋の人があま市で遊んで、あま市に沢山来てもらう。 ・あま市の目玉を作り、PRする。
2	発展途上の市	・地形が平坦。 ・自然がいい。 ・住宅地と自然(田)が両方ある。 ・スポーツなどがやりやすい場所がある。 ・公園が沢山ある。 ・ハイキングに行ける山が近くにある。 ・名古屋に近く、地価が安く、移住しやすい。 ・スーパーの食料品は名古屋より安い。	・商業施設をつくる。 ・住宅だけではなくて田んぼなども増やしていく。 ・働く場を作る。 ・地域の将来の姿をビジュアル化する。 ・他県の小・中学生に修学旅行にあま市を選んでもらえること…。 ・自然豊かな田園都市にする。 ・豊かな自然を残しながら、企業誘致できる? ・大きい公園を作る。 ・自然を残しつつ住宅を増やす。 ・あま市民病院をもっと活用する。 ※老人を大切にする病院。
3	歴史・文化遺産	・歴史的文化がある。 ・甚目寺観音、郷土の英傑など歴史文化がある。 ・4つの無形民俗文化財があること。 ・七宝焼に代表された伝統技能がある。 ・有名な戦国武将を輩出している歴史がある。	・観光資源としてPR ・地域住民の気持ちの拠り所になる。 ・市民にも市外の人にも知ってもらう機会を作る(展覧会など)。 ・まず愛知県から「歴史の町 あま市」というのを広めたい。 ・インターネットで全世界発信 ・七宝焼でモニュメントを作る。 ※TVで紹介してもらう。 ・市民の交流に役立てる。
4	新しい風を吹き込む地域若返り	・人口減少の中、あま市は人口が増えている。活気が残る。 ・外国人の方もあま市に住んでいること。 ・人口が減少していない。 ・市の規模が大きくもなく、小さくもない。	・あま市の映画を作る。 ・治安がいいことをアピール ・住民の保守的な意識からの脱却 ・異文化交流、世代間交流 ・子育てがしやすい環境をつくり、ずっとあま市に住み続けてもらいたい。
5	炭次郎みたいな人	・市民活動を積極的に行っているシニアの人たち ・朝市 ・礼儀正しい人が多い(ように感じる)。 ・車の運転マナーがよいと、名古屋から来る人が言っている。 ・郷土愛を持っている人が多い。	・「素敵な人」をビデオで作りPRする。 ・もっと郷土愛を増やせるように、沢山の交流を増やす。 ・市民が心豊かに過ごせるための人々の交流を大切にしたい。 ・インスタ映えを作る。 ・インスタで「#我らのあま市」というのを若い世代に使ってもらい、全国に広める。

第3回 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！

アイデア	どのような 魅力を活かすか	誰が	どのようなことを 実施するか	どのような 街になるか
特産品などを 活かし 市民のつなが りを醸成	・あま市の特産品と 歴史・文化遺産を 活かす。	・市長と市民	・あまり使われていない市 の施設を活用する。 ・学生が調べ学習した内容 を展示し、PRする。 ・特産品を販売する。 ・料理教室を開催する。	・あま市民の心が一 つになって、キラ ッと光る。
	■アイデアのねらい あま市の特産品と歴史・文化遺産を活用し、市長を中心に市民が発信するとともに、 使われていない市の施設において、学生による学習内容の展示、特産品の販売、特産物 を使用した料理教室を開催する。これにより、あま市民の心のつながりが強くなること をねらいとする。			

C グループ／タイトル：スターバックス アートヴィレッジ店

第2回 あま市の魅力をみつけよう！

魅力	魅力(資源)の内容	活用方法
1 産業	・七宝焼 ・七宝焼職人がいる ・イルミネーション ・アートヴィレッジがある。 ・朝市がある(マーケットイベント) ・毎月12日に甚目寺観音くらしの朝市 ・毎月第2日曜日、甚目寺駅ロータリーつなぐ市場(7～9月は土曜日夜) ・天皇陛下御訪問 ・ハケ、ブラシ ・中小企業コラボ商工会	・アートヴィレッジを使った地元産業だけのお祭りをする。 ・七宝焼ならアクセOKの校則 ・七宝焼で流行に乗る。 ・人気アニメとのコラボ ・あま市まとめサイト
2 飲食	・オリーブオイル ・七宝みそ、しょうゆ ・小松菜や方領大根、かぶと米などの特産品 ・飲食店がたくさんある。 ・のり ・モーニング	・飲食店で特産品を使ったメニューを考えてもらう。 ・調理実習で使う。 ・購買で売る。・名物料理を作る。 ・みそ、小松菜が、もっと地元で気軽に買えるように。 ・それぞれの専門のカフェをつくる。
3 歴史	・歴史のある建物 ・節分(恵方) ・漆部神社(日本唯一の漆物、塗物の神様) ・萱津神社(日本で唯一漬物の神様) ・歴史がある。利家とまつ(大河ドラマ) ・甚目寺観音(鎌倉時代～) ・飛行場跡がある。 ・山車	・大人になっても歴史を学べるツアー ・歴史スポットめぐり
4 施設	・新しい市役所ができる。 ・大きな病院がある。 ・美和高校と五条高校 ・三重県と岐阜県に近い。 ・濃尾平野 ・名古屋まで近い。 ・自然豊か ・ラジオ体操 ・文化・スポーツ施設がたくさんある。 ・名古屋駅から名鉄で10分の甚目寺駅 ・電車や高速道路など交通の便がよい。 ・甚目寺駅(1日1万人の乗降客) ・甚目寺駅ロータリー ・甚目寺観音東門商店街 ・都会的でもなく田舎的でもない住みやすい環境 ・市長が割とシュツとしている。 ・総合体育館がある。 ・森が丘公園など ・田んぼがたくさん ・季節が感じられる。 ・近隣とのコラボ ・名二環ICすぐ ・農業 ・あまえん坊かわいい	・施設をもっと使い方簡単に。 ・名古屋まで行くのではなく、名古屋から人を呼べるようなスポット作り。 ・スタバが出来るワクワク感と同じレベルのものを作る。 ・道の駅を作る。 ・都心の人に農地を貸す。 ・あま市ガイドツアーを市長がやる。
5 その他	・市民活動団体がある。 ・市民の声を聞く場がある。	・SNSを活用する。 ・発信力 ・SNS活用を支援できる体制 ・甚目寺ツアー ・名所めぐり(スタンプラリー) ・あるもの同士をつなげる。 ・使う、楽しむ世代自らが作る。

第3回 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！

アイデア	どのような魅力を活かすか	誰が	どのようなことを実施するか	どのような街になるか
七宝焼を活かした魅力の向上	・七宝焼を活かす。	市民を中心に多様な主体が連携	・あま市のカフェの食器として利用する。 ・七宝焼にちなんだスイーツをつくる。 ・アートヴィレッジへ、スターバックスコーヒーを誘致する。	・アートヴィレッジに人が集まる。 ・「あま市にもスタバが!!」と強みになる。 ・七宝焼とのコラボで七宝焼も知ってもらえる。 ・地元で買いに行きやすい。
■アイデアのねらい 七宝焼を活かし、市民を中心に多様な主体が連携を行い、「カフェの食器として利用」、「七宝焼に関連したスイーツを創る」、「アートヴィレッジへ、スターバックスコーヒーを誘致」などを実施する。これにより、アートヴィレッジの集客力が向上するとともに、あま市の魅力の向上につながることをねらいとする。				

D グループ／タイトル：あま市 100%

第2回 あま市の魅力をみつけよう！

魅力		魅力（資源）の内容		活用方法
1	ほどよい田舎	利便性	・名古屋に近い。 ・名古屋駅まで 15～20 分くらいと近い。 ・セントレアへ名鉄だけで行ける。 ・店にあまり困らない。 ・コンビニ、ドラッグストアが多い。	・企業誘致 ・木田駅、七宝駅、甚目寺駅のダイヤに合わせたバス ・名古屋市（駅）までの市営バスを走らせる。 ・便利な田舎暮らしをキャッチコピーに誘致
		田舎系	・地価が安い。 ・田んぼがきれい。 ・新鮮な野菜・静かで平和な町 ・ほどよい田舎	・子どもたちの農業体験 ・田んぼを使って田んぼアートを作る。 ・あま市でとれた野菜をコンビニ等で販売する。
2	子育て支援の充実	・待機児童なし（たぶん） ・子育て支援 ・子どもの医療費が中学卒業まで無料		・区画整理を進めて若い世代に住んでもらう。 ・ボール遊びができる公園をつくる。 ・若い世代へのPR
3	PRしたい観光資源	文化	・街のシンボル 甚目寺観音 ・福島正則の生誕の地 ・萱津神社	・イベントに市外からも来てもらう。 ・観光巡りツアーの実施 ・福島正則をもっと推して、大河ドラマの主演にリクエストする。
		食	・七宝みそがある。 ・特産物が多くある。（かぶと米、方領大根など）	・特産物を使った料理教室 ・七宝みそを使った料理をふるまう。 ・七宝みそのおいしい料理レシピ ・特産物を使ったインスタ映えスイーツ
		七宝焼	・七宝焼	・七宝焼の体験ツアーで知ってもらう。 ・七宝焼で映えるアクセサリ作り ・七宝焼のアクセサリ、食器など SNS 受けするもの ・今流行している物を七宝焼で作る。 ・東京オリンピックに展示
4	その他	・ラッキープラザがある。（集客） ・地域交流が盛ん		—

第3回 魅力を活かしたあま市の将来を考えよう！

アイデア	どのような魅力を活かすか	誰が	どのようなことを実施するか	どのような街になるか
あま市の魅力を多様な方法でPR	・イルミネーション、ほどよい田舎、特産物、みそ、七宝焼、観光資源などの魅力をPRする。	・店舗、職人、一般市民、学校などによる活動団体（運営事務局）	・市内の名所を回るスタンプラリーを実施する。 ・食や七宝焼イベントと連携する。 ・Run&walk アプリを開発する。 ・木田駅から文化会館までをイルミネーションで飾る。	・市民の人があま市を好きになる。 ・市外の人にあま市を知ってもらう。 ・将来的には「利便性」や「子育て支援」もアピールして、あま市に住みたくなる。
	■アイデアのねらい イルミネーション、ほどよい田舎、特産物、みそ、七宝焼、観光資源などの魅力をPRするために、店舗、職人、一般市民、学校などが参加する活動団体（運営事務局）が、「市内の名所を回るスタンプラリーの実施」、「食や七宝焼イベントとも連携」、「Run&walk アプリを開発」、「木田駅から文化会館までをイルミネーションで飾る」などを実施する。これにより、市民があま市を好きになるとともに、市外の人にあま市を認知して頂ける。さらに、将来的には「利便性」や「子育て支援」もPRすることにより、あま市に住みたくなる人が増えることをねらいとする。			



集合写真